

(7) 南海神一丁目、南海神二丁目

人 口		昼間人口	3,002 人	夜間人口	297 人	対象地区を含む周辺図（および周辺の避難施設・避難路・避難方向）							
						避難目標	京成本線	避難先	西海神小学校、 （津波一時避難施設）：京葉ガス株式会社 船橋倉庫				
想定される危険性	最大浸水深 （地点は右図参照）	3.0～5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合				●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。 ●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。			凡例 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。 緑色の線は、避難目標を示します。 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。 津波一時避難施設を示します。 この対象地区の境界線を示します。				
	津波到達時間	70 分 ※千葉県津波浸水想定の場合											
基本となる避難方法	液状化発生の危険性	南海神一丁目の全域で「極めて高い」または「高い」、南海神二丁目の南東部の一部で「極めて高い」 ※平成 29・30 年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合											
	避難方法の考え方	避難方法 B：避難対象地域の外を目指すことを基本に、津波到達予想時刻までの時間などの状況により、津波一時避難施設や頑丈な建物の上階に垂直避難する。 地震発生 40 分 70 分（第一波到達） 避難対象地域の外に避難 津波一時避難施設へ避難 頑丈な建物の上階等へ緊急避難 避難目標、避難先を目指す。 地震発生から 40 分後、避難行動が遅れた人は津波一時避難施設への避難を行う。 地震発生から 70 分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。 ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。											
	避難目標	京成本線											
	避難先	西海神小学校 （津波一時避難施設）：京葉ガス株式会社 船橋倉庫											
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	【0～40 分】 避難路①から高架下を通して京葉道路を越え、京成本線方面へ。 【40～70 分】 上記および右図記載の津波一時避難施設（京葉ガス株式会社 船橋倉庫）へ。 ※土砂災害（特別）警戒区域の周辺は通行しない。 ※河川や水路に近い道で避難する時は、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。											
(参考) 周辺の津波一時避難施設		海神南小学校、南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋 ※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。				千葉県津波浸水想定による浸水深 0.3m 未満 0.3m 以上 0.5 m 未満 0.5m 以上 1.0m 未満 1.0m 以上 3.0m 未満 3.0m 以上 5.0m 未満 5.0m 以上 10.0m 未満 10.0m 以上 20.0m 未満							

